

令和元年台風第19号による河川関係の浸水被害に関する住民説明会

日 時 令和元年12月20日（金） 19時 開始
場 所 川崎市総合教育センター（高津区溝口6-9-3）

次 第

- | | |
|----------------|---------------------------------------|
| 1. 開会に先立ってのご挨拶 | 久地東町会会長 |
| 2. 開会のあいさつ | 建設緑政局長 |
| 3. 職員紹介 | 課長級以上職員 |
| 4. 浸水被害状況等の説明 | 建設緑政局道路河川整備部河川課長
高津区役所道路公園センター整備課長 |
| 5. 質疑応答 | |
| 6. 閉会のあいさつ | 高津区役所道路公園センター所長 |

配布資料：河川等に関連する浸水被害状況（A3両面）

(問い合わせ先)

●事業全般について

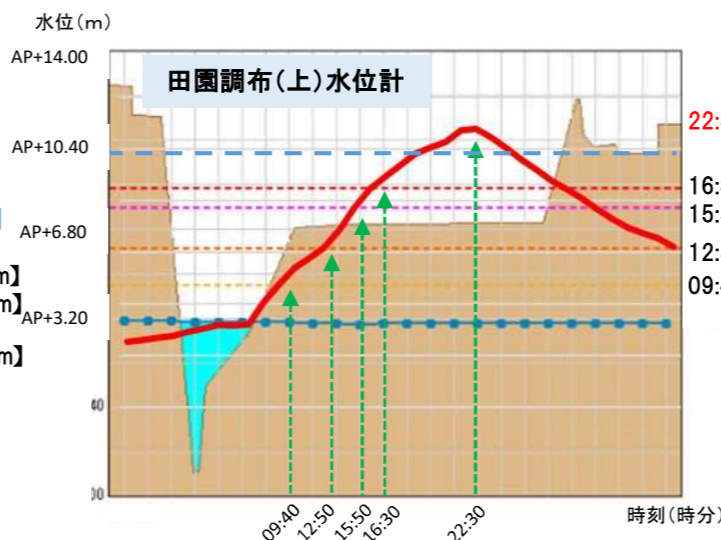
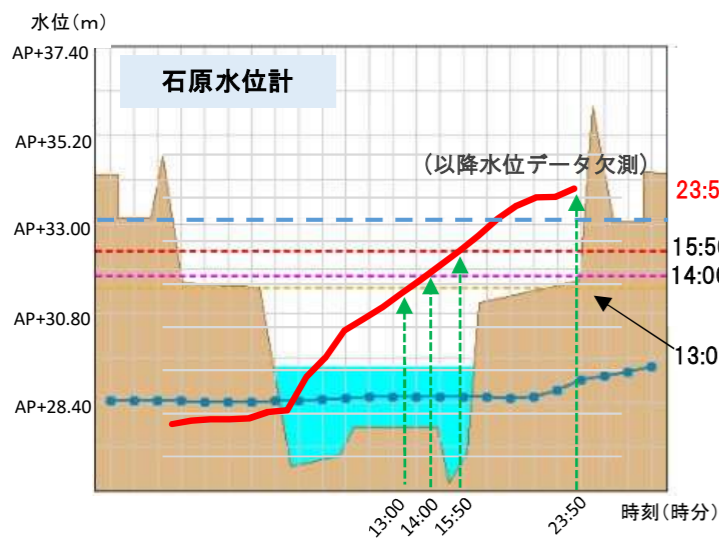
川崎市建設緑政局道路河川整備部河川課 TEL 044-200-2906
FAX 044-200-7703

●管理、維持・補修について

高津区役所道路公園センター整備課 TEL 044-833-1221
FAX 044-833-2498

河川等に関連する浸水被害状況

多摩川の水位の状況



②平瀬川(多摩川との合流部)



平瀬川上流側から多摩川との合流部を望む



③三沢川(JR南武線三沢川橋りょう周辺)



多摩沿川道路から三沢川を望む

①河港水門(川崎区港町周辺)



多摩川下流側から河港水門を望む

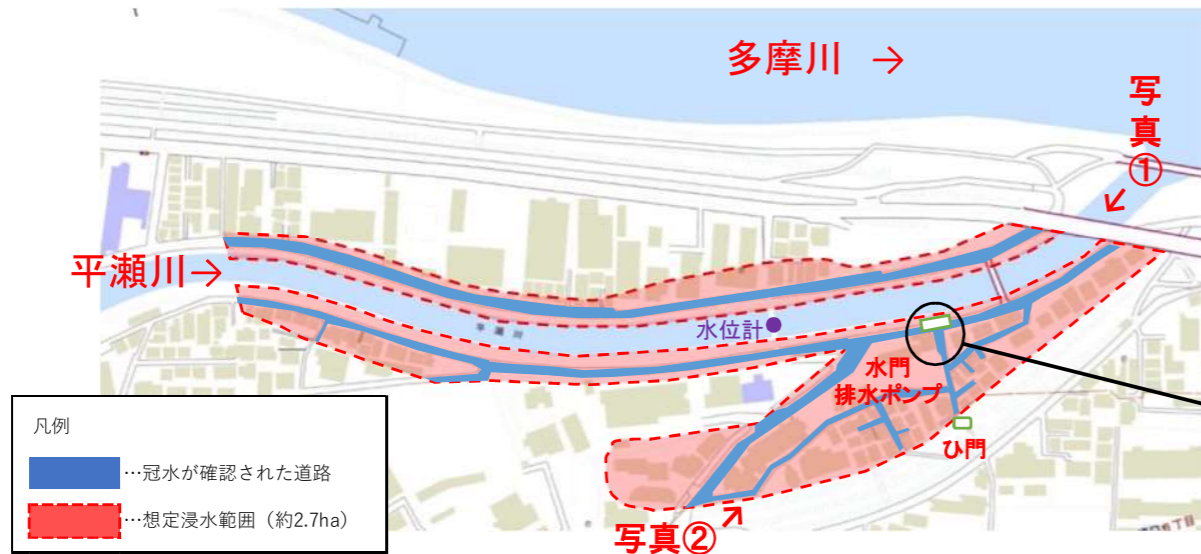


(参考)河港水門とは
大正時代末期、内陸部に運河を
開通させる計画が策定され、昭
和3年3月に完成したが、第2次世
界大戦により運河は水門から約
220mの開削で中断され、現在で
は埋め立てられて水門と接続す
る部分約80mが舟溜まりとして残
存している。

一級河川平瀬川における浸水被害状況

多摩川において計画高水位を超える状況の中、平瀬川においても水位が上昇したことにより、越水したものと考えております。

1. 浸水区域



※10月17日時点の想定浸水範囲

2. 現場状況

写真①多摩川との合流部



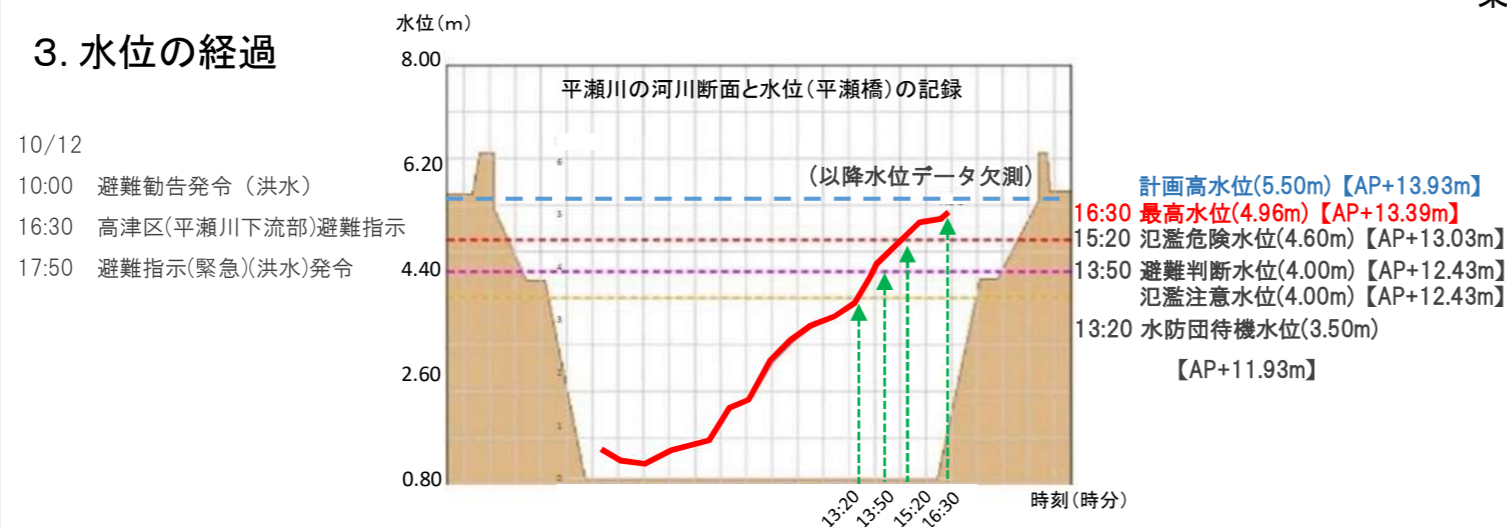
10月12日午後10時頃

写真②高津区溝口六丁目



10月13日午前5時頃

3. 水位の経過



4. 事象の発生状況と対応状況

- 10月12日 10:00 全市避難勧告発令 (洪水)
- 10:00 ポンプ設置
- 11:00 ポンプ稼働、水門閉鎖
- 13:20 平瀬川水位3.50m 水防団待機水位を超過
- 13:50 平瀬川水位4.00m 氾濫注意水位を超過
- 14:15 広報車 (消防、消防団) による避難広報開始
道路公園センターによる水位標の目視確認を開始
- 15:20 平瀬川水位4.60m 氾濫危険水位を超過
- 16:30 高津区 (平瀬川下流部) 避難指示発令
- 16:50 避難指示に伴う消防から避難 (退避) の広報
職員及び緊急業者退去(ポンプ稼働状態のまま)
- 17:50 避難指示 (緊急)(洪水) 発令
- 19:00 ポンプに給油実施、水位はパラペット天端から約15cm(目視)
- 19:50 現地確認 水位はパラペット天端から約5cm(目視)
ポンプ設置位置から下流右岸側にて越流を確認
- 20:30 道路公園センターによる現地確認(広範囲の浸水を確認)



5. 今後の取組

- 今後は、速やかに浸水要因の検証を行い、対策の検討を進めてまいります。
- 対策については、早期の被害を低減できる「短期対策」と、より効果のある「中長期対策」にわけて方策を検討してまいります。

	R元年度			R2年度								R3年度														
	12	1	2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
浸水原因の検証	[]			[]								[]														
対策検討 (中・長期対策)	[]			[]								[]														
短期対策 (検討・実施)	[]			[]								[]														
中・長期対策 (実施)	[]			[]								[]														
出水状況	[]			[]								[]														